

はまなす句会（六月二十二日）（百二十三回）

揺るること未だ知らざる今年竹

圭二

ゆさゆさと奏でる風や麦の秋

菊枝

麦の秋入日もふくめこがね色

由美子

かわせみの水面に写すあでやかさ

久子

雨空に房々と垂れ栗の花

玲子

下駄の音ひかえて待てる螢かな

則子

